

# Hospitality

地域のホスピタリティを訪ねて

## Hulaが持つ美しさや愛情 その熱い思いを伝えたい

Halau Hula O Lehua 'Ula 島根担当 hina (ひな)

私は、浜田市で生まれ、両親の仕事の都合で広島で育ちました。幼少から三隅で暮らす祖父母のことが大好きで、ずっと島根で暮らしたいと思っていました。5年前に縁あって国府町でフラ・タヒチアンダンス教室「Halau Hula O Lehua' Ula」を始める事になりました。

私がフラダンスに出会ったのは、東京でヨガのインストラクターをしている時でした。当時、私は病気を患い、手術をしたこともあって健康を強く意識するようになりました。そんな時にヨガと出会い、ヨガ教室で働きながらヨガのインストラクターになりました。教室では、恵比寿店の店長として沢山の方にヨガを教えていましたが、教室の新たな試みでフラを始めることとなり、その時、初めてフラに出会いました。そのとき見たフラは、私がイメージする、ゆったりとしたフラとは違い、楽器を使い、歌い、筋肉も体力も使う激しい踊りでした。当時は知りませんでしたが、そのフラは「カヒコ」と言い、大きく2種類に分けられるフラの中でも、古くから伝わる古典フラで、元々は男性が踊り神様に捧げる神聖なものとして踊られていました。いま思うと、私がフラに惹かれたのは、子どもの頃から慣れ親しんでいた「石見神楽」を、そのフラに感じたのかもしれない。

その後29歳の時、実家の広島へ戻り、現在一緒にフラ教室をやっているパートナーとフラをもっと学びたい、ダンスに込められた美しさや愛情、熱い思いを沢山の人に届けたいと思う気持ちを胸に、本場ハワイへ修行に行きました。そこで生涯の師となるレファ・カルバルホ先生に出会い現在の教室名「Halau Hula O Lehua' Ula」を33歳の時に授かりました。正式にフラダンス教室としては始めることとなり、その頃から島根には月に一度、祖父母の暮らす三隅町で教室を開き、フラの魅力を伝えていました。そんな日々の中で今の旦那様に出会い、旦那様の実家である国府町で暮らすことになりました。

そして、このまちでフラ教室を開くため、場所を探していたところ、すぐに今の場所が見つかりました。そこは部屋から海が見える素敵な場所で、その出会いに運命を感じるほどでした。元々は飲食店だった広いお座敷も家族や友人と一緒にスタジオに手作りで改装し、素敵なスタジオが完成しました。それは、ずっと子どもの頃から思っていた、島根で暮らしたいという願いが現実になった瞬間でした。



現在は、広島をパートナーが担当し、島根を私が担当しています。今では、教えた生徒さんたちがインストラクターとなり三隅や江津、県外では岡山や福山などで活躍するまでになり、生徒さんの数も広島と合わせて約100名を超えてきました。最近ではそのフラの魅力で、私たちの暮らすこのまちを、もっと元気にしたいと思い、この地では初めてのとなる「海フェス」を地域の皆様と企画し7月に開催させていただきました。天候にも恵まれ、多くのご来場者を迎えることができ、無事、イベントも成功に終わることができました。私たちは、フラにも、このまちにも、私たちが想像する以上に、人の心を動かす力があると感じました。

病気を患い、子どもができないかもしれない、そんな不安の中でヨガをはじめた私が、フラと出会い、今ではずっと暮らしたかった島根で暮らすことができ、二人の子どもも授かることもできました。そして、私の故郷となったこのまちで、今は地元の皆さんと一緒にまちづくりにも関わらせていただいている。私にとってフラは、私以上に私の全てを知っている。そんな不思議な力があるように感じています。最後になりますが、私たちにフラを教えてくれた先生、そして私たちに幸せを与えてくれたこのまち、そこで暮らす皆様に、心から感謝いたします。

